

## 論点について

### 1 第5回「特定健康診査・特定保健指導の在り方に関する検討会」での議論の概要等について

- 第5回検討会において、門脇構成員より研究班での研究結果について報告があり、それらを踏まえた検討の概要は資料1の通りである。
- また、以下のとおり、更なる情報が必要との意見を踏まえて、門脇構成員より追加の分析を行った。(資料3)
  - ・ 保健指導レベル別にみた全循環器疾患の年齢調整ハザード比 (p.3)
  - ・ ウエスト周囲長とリスクファクター数の関連 (誤差範囲の明示) (p.4-6)
  - ・ ウエスト周囲長とリスク数別にカテゴリー化した場合の全循環器疾患のハザード比 (p.7-16)
  - ・ 女性のウエスト周囲長の基準値を変更した場合の保健指導レベル別にみた全循環器疾患の年齢調整ハザード比 (p.17-21)
  - ・ 保健指導レベル別にみた全循環器疾患の年齢調整ハザード比 (p.21-23)
  - ・ 心血管疾患発症に寄与する因子・リスクファクターの重み付け (p.24-26)
  - ・ 喫煙について (p.27-33)
  - ・ 肥満の疫学 (p.34-41)
- 第5回検討会の議論を踏まえ、津下構成員より、インピーダンス法を用いた腹囲と内臓脂肪面積に関して検討するためのデータを取りまとめた。(資料4)
- これまでの議論の整理として、特定健康診査における健診項目の位置づけについてまとめた。(資料5)

### 2 第6回検討会で検討すべき事項

- 上記1の追加のデータを踏まえて、第5回検討会でお示した下記論点について、検討を進める。
  - ・ 特定保健指導の対象となっていない非肥満のリスク保因者に対する対応の必要性についてどのように考えるか。
  - ・ 保健指導対象者の選定・階層化基準において、腹囲を第一基準とすべきか。
  - ・ 腹囲の基準値は、男性85cm以上、女性90cm以上とすべきか。
- 上記1のこれまでの議論の整理を踏まえて、詳細な健診の健診項目、実施すべき対象者等について検討を行う。